

斑点米被害を急増させている アカスジカスミカメは、全国各地で独立に害虫化している

研究のねらい

アカスジカスミカメによる斑点米被害は、最近20年間で急速に全国に拡大している。全国各地の集団のDNAを調べることで、特定の加害集団が全国へ分布拡大しているのか、各地域に土着の集団が独立に害虫化しているのかを明らかにする。

成果の内容

- ①全国各地のアカスジカスミカメの遺伝的多様性を解析するためのDNAマーカーを開発した。
- ②アカスジカスミカメの遺伝的多様性には地域差があり、大きくは3つのグループに分けられる。
- ③1980年代に報告された東北、中国地域の2か所の斑点米被害は遺伝的に全く異なる集団から生じている。さらに、2000年以降問題化した関東地方の被害も、この地方固有の集団の害虫化によるものである(図1)。アカスジカスミカメによる斑点米被害の拡大は、特定の害虫化集団が分布拡大したのではなく、各地域の土着集団が害虫化した結果である。
- ④今後、害虫化のプロセスを明らかにすることにより、有効な防除法の開発につながる。

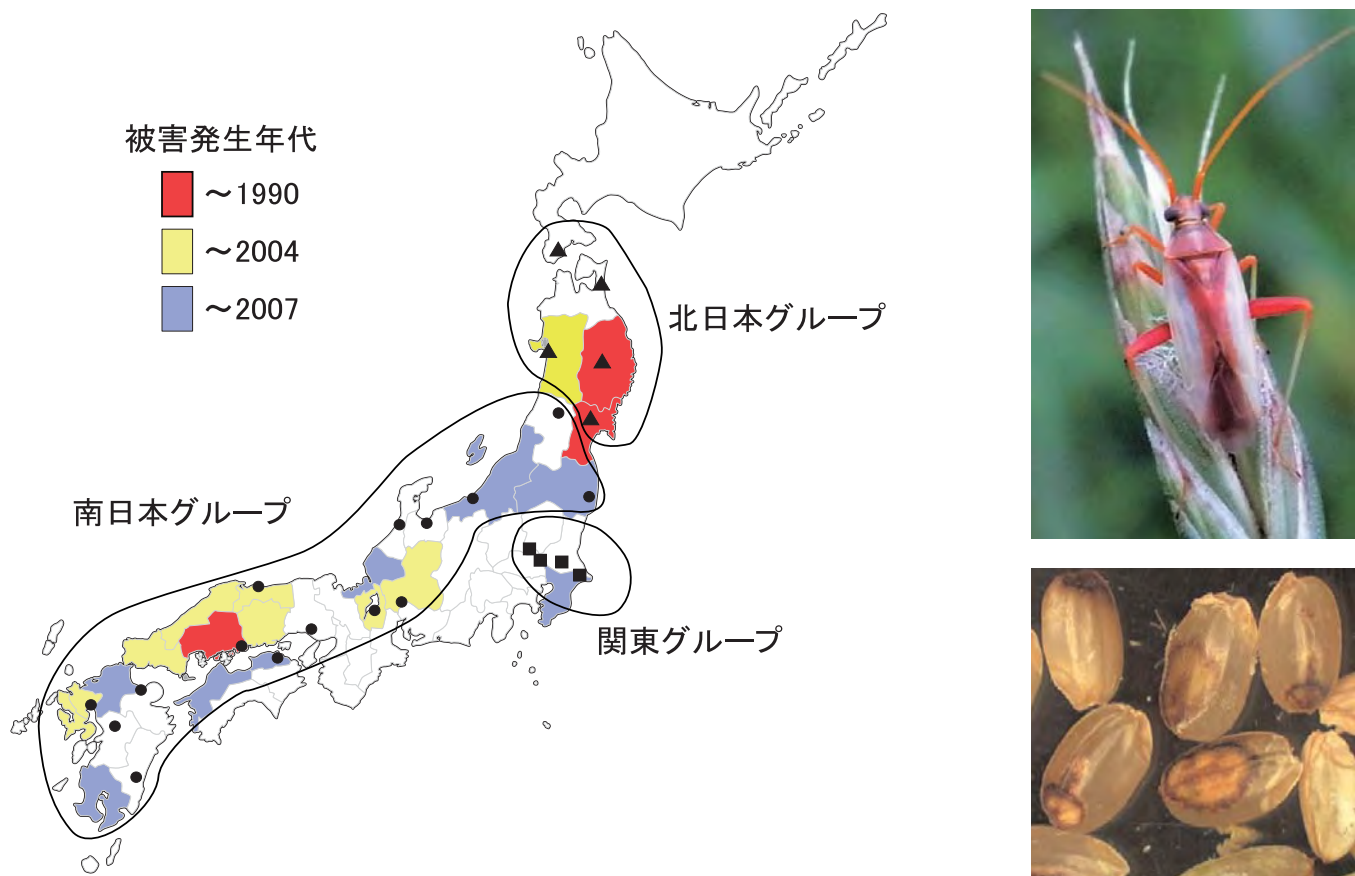


図1 アカスジカスミカメ地域集団の遺伝的グループと、本種による斑点米被害の発生時期

